

「Challenge Wednesday」の実施に向けて ～こどもたちも、教員も主体的に学ぶ水曜日～

教育推進プラン江東(第2期)「1 確かな学び」について

<児童・生徒の課題>

- 主体的に学習・課題に取り組む態度の育成
 - ・自己の課題や興味関心に応じた学び、学びの見通しが必要
- 「学び方スタンダード」家庭学習の充実
 - ・自主的、計画的に取り組むことが必要<学び方の習得>
- ICTの活用等の情報活用能力の向上
- 将来も見据え、自ら何かに取り組む時間の創出



教育推進プラン・江東(第2期)
「教育のICT化」

個に応じて学ぶ時間や場、
学び方の習得が必要

教育推進プラン江東(第2期)「9 学校・教員」について

<教員の課題>

- 新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善の推進
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現、専門性の更なる向上
- ICT機器を効果的に活用した学びの質的向上
 - ・児童生徒一人一台PCの活用 ・電子黒板、デジタル教科書の活用
- 働き方改革の推進
 - ・業務の効率化 ・在校時間の削減
 - ・部活動の在り方改革 ・休暇取得の促進



研修等の学びの時間や機会・
場の確保、業務の効率化や
負担軽減が必要

「Challenge Wednesday」の設定

水曜日の午後の時間を効果的に活用し、課題解決を図る

<児童・生徒にとって…>

- 水曜日は、原則5校時終了後下校(給食後、下校の場合もあり)
- 原則、部活動や学校での活動はなし ○学校からの課題はなし



Challenge !

- ★自らの課題や興味関心に基づく自主学習
(例)・授業の予習、復習 ・興味のあることについて調べる
- ★学校で「放課後学習教室」に参加し、学力向上を図る
- ★タブレット端末を活用し、学習のハイブリッド化を図る
- ★図書館で読書、地域の活動、習い事等、主体的に活動

- ★個に応じた学びへの主体的な取組
- ★「未来を切り拓くための資質能力」
「確かな学力」の向上
- ★1人1台PCの家庭での活用

<教員にとって…>

- 水曜日の午後は、研究、会議、教材準備、校務を行う時間とする
- 原則、水曜日は定時退勤日とする(退勤時、留守番電話に切替)

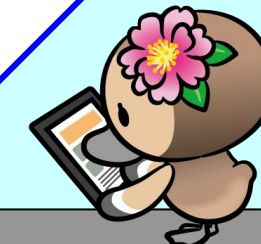


Challenge !

※水曜日の午後の活用例

- ★研究に取り組み、指導力の向上を図る
・教育研究会(月1回) ・校内研究(月1回)
※教科交流授業研究の日(年2回)、江東区連携教育の日(年2回)
- ★必要最低限の会議の効果的な実施(月1~2回)
- ★個人作業日(月1回以上) → 進捗により有給休暇取得

- ★全ての教員が、1人1台PC・
電子黒板・デジタル教科書を
効果的に活用した授業を実施
- ★「質の高い授業」「業務の効率化」



令和3年度 設定例

- 区教研…区幼研、区小研、区中研は同一日の開催とする。年度始・年度末の実施、各日程の内容については各団体に決定する。中学校教科交流授業研究の日は連携して実施する。
- 会議や校内研究の実施方法や内容、回数は、各校で学校行事の計画も考慮し、工夫して決定する。PC掲示板の活用等で、会議は軽減していく。※質の向上を図る。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----|------|---------|----------|------|---------|---------|----------|---------|-------|---------|---------|---------|
| 水① | 個人 | こどもの日 | 校内研究 | 区教研 | 個人 | 区教研 | 個人 | 文化の日 | 区教研 | 個人 | 区教研 | 区教研 |
| 水② | 会議 | 区教研 | 連携教育の日 | 校内研究 | 個人<閉庁> | 校内研究 | 区教研・教科交流 | 区教研 | 会議 | 区教研 | 個人 | 個人 |
| 水③ | 区教研 | 個人 | 区教研・教科交流 | 会議 | 個人 | 個人 | 校内研究 | 個人 | 校内研究 | 連携教育の日 | 会議/校内研究 | 会議/校内研究 |
| 水④ | 校内研究 | 会議/校内研究 | 会議 | 個人 | 会議/校内研究 | 会議 | 会議 | 会議/校内研究 | 個人 | 会議/校内研究 | 天皇誕生日 | 会議/校内研究 |
| 水⑤ | | | 個人 | | | 会議/校内研究 | | | ※勤務なし | | | 個人 |